

福祉保健部健康対策課

1 健康増進事業

事業等名称	令和4年度実績	事業等名称	令和4年度実績
健康教育 一般健康教育回数	394回	健康診査 米子市健診受診率	11.5%
重点健康教育回数	37回	胃がん検診受診率	24.8%
健康相談 総合健康相談回数	397回	肺がん検診受診率	25.9%
重点健康相談回数	0回	大腸がん検診受診率	24.6%
訪問指導 訪問指導延べ人数	実績なし	子宮がん検診受診率	22.6%
		乳がん検診受診率	13.1%
		ふしめ歯科検診受診率	3.3%

(1) 健康教育

健康に関する知識の普及や啓発を目的に、保健センター又は地区において医師、保健師、栄養士等により、一般健康教育と病態別等の重点健康教育を開催した。

	開催回数	参加延人員	備考
一般健康教育	394回	6,543人	運動、食生活等
重点健康教育	37回	623人	病態別（糖尿病、高血圧、心臓病、肥満等）、 歯周疾患、骨粗鬆症、薬の話
計	431回	7,166人	

(2) 健康診査

米子市健康診査、肝炎ウイルス検査、肺がん検診、胃がん検診、子宮がん検診、乳がん検診及び大腸がん検診の受診券を1枚にまとめ、40歳、45歳、50歳、55歳の節目年齢の者、60歳以上の者、40歳以上の国民健康保険の加入者及び20歳以上の女性、過去4年間に米子市の受診券で受診したことがある方に送付した。

※がん検診の精密検査については、令和5年6月1日時点の人数とする。

ア 米子市健康診査

94の医療機関で7月から12月に実施した。

(7) 受診状況

対象者数	2,005人
受診者数	231人
受診率	11.5%

※ 対象は、40歳以上の生活保護世帯に属する者及び令和4年4月2日以降国保加入者

(i) 受診者内訳

生活保護	186人
その他	45人

イ 肝炎ウイルス検査

健康増進法（平成14年法律第103号）に基づき、B型・C型肝炎ウイルス検査を実施した。

年齢階層	受診者数	異常なし	HBs抗原のみ陽性	HCV抗体のみ陽性	HBs・HCV陽性
40～49歳	248人	248人	0人	0人	0人
50～59歳	145人	142人	2人	1人	0人
60～69歳	294人	292人	2人	0人	0人
70歳以上	306人	303人	2人	1人	0人
計	993人	985人	6人	2人	0人

ウ 胃がん検診

検診車による集団検診及び56医療機関での個別検診を7月から1月15日まで実施した。

(7) 受診状況

区 分		受診者数	
集団検診 (X線検査)		339人	
個別検診	X線検査	178人	10,514人
	内視鏡検査	10,336人	
計		10,853人	

(イ) X線検査結果

区分	受診者数	異常なし	要精密者	精密検査受診者	精密検査受診結果			
					異常なし	がんの疑い	がんであった者	その他
集団検診	339人	327人	12人	10人	1人	0人	1人	8人
個別検診	178人	163人	15人	12人	3人	0人	0人	9人
計	517人	490人	27人	22人	4人	0人	1人	17人

(ロ) 内視鏡検査結果

受診者数	異常なし	がんの疑い	がんであった者	その他
10,336人	1,797人	12人	36人	8,491人

エ 子宮がん検診

検診車による集団検診と12医療機関での個別検診を7月から1月末に実施した。

(7) 受診状況

区分	受診者数	要精密者数
頸部	7,073人	102人
体部	310人	9人

※「要精密者数(頸部)」は、一次「要精密(1)」+「要精密(2)」+「判定不能のうち再検を実施しない者」+「判定不能」

(イ) 精密検査結果

区分	受診者数	異常なし	CIN1~3	がんであった者	がんの疑いまたは未確定	その他
頸部	64人	16人	12人	2人	19人	15人
体部	6人	2人	0人	3人	0人	1人

オ 乳がん検診

マンモグラフィ検査による2検診機関での集団検診と、7医療機関での個別検診を7月から1月末に実施した。

(7) 受診状況

受診者数	要精密者数
3,540人	309人

(イ) 精密検査結果

受診者数	異常なし	がんの疑い	がんであった者	その他
301人	94人	1人	20人	186人

カ 肺がん検診

検診車による集団検診及び61医療機関での個別検診を7月から1月15日まで実施した。

(7) 受診状況

区分	受診者数	X線のみ	X線+喀痰	要精密者数
集団検診	989人	964人	25人	33人
個別検診	10,368人	9,961人	407人	372人
計	11,357人	10,925人	432人	405人

(イ) 精密検査結果

区分	受診者数	異常なし	がんの疑い	がんであった者	その他
集団検診	28人	10人	5人	0人	13人
個別検診	317人	143人	3人	7人	164人
計	345人	153人	8人	7人	177人

キ 大腸がん検診

85 医療機関での個別検診を7月から1月15日に実施した。

(7) 受診状況

受診者数	要精密検査者数
10,760人	882人

(イ) 精密検査結果

受診者数	異常なし	がんの疑い	がんであった者	その他
658人	143人	3人	40人	472人

ク 肝臓がん対策事業

B型・C型肝炎ウイルス陽性者に対し年1回の定期検査の勧奨を行った。

区分	対象者数
B型肝炎ウイルス陽性者	572人
B型・C型肝炎ウイルス陽性者	4人
C型肝炎ウイルス陽性者	139人

ケ ふしめ歯科検診

40歳、50歳、60歳、70歳のふしめ年齢の者を対象とし、西部歯科医師会委託医療機関で実施した。

対象者数	受診者数
7,729人	253人

(3) 健康相談

保健センター、各地区公民館において保健師、看護師、栄養士等による健康相談を実施した。

区分	回数	延人員
総合健康相談	397回	2,041人
重点健康相談	0回	0人
計	397回	2,041人

(4) 訪問指導

令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実績なし。

2 介護予防事業

(1) フレイル対策推進事業

ア 市内全域

(7) フレイル予防教室

保健推進員や地域包括支援センター等と連携しながら、市内全域でフレイルに関する予防教室を実施した。

フレイル度チェック及び個別指導を10回、フレイル予防教室を9回、栄養教室を10回実施。

(4) フレイル度チェック

市内在住の65歳以上の者(要支援・要介護認定の者は除く)

a 実施状況

対象者数	実施者数(延人数)	実施者数(実人数)	実施率
34,128人	1,924人	1,597人	4.7%

b 実施結果

健康	プレフレイル	フレイル
55%	29%	16%

イ 永江地区

令和元年度より、フレイル状態の進行抑制と改善を通して健康寿命を延伸することを目的に、永江地区をモデルにフレイル対策を行ってきた。尚徳地域包括支援センター及びなんぶ幸朋苑と共同実施。

(7) フレッシュアップスクール

令和3年度に実施した「フレイル度チェック」で「プレフレイル」「フレイル」に該当した者のうち希望者が参加。

a 実施期間 6月～8月 3カ月(8回)を1クールとして開催

b 参加者 7人

(4) 元気でふる会

令和3、4年度のフレッシュアップスクール参加者(卒業生)を対象に体力測定及び交流会を開催し、4期卒業生(16人中1人)、5期卒業生(7人中4人)の計5人が出席した。

(4) フレイル度チェック

永江地区在住の64歳以上の者(要介護認定の者は除く)を対象に実施

a 実施状況

対象者数	実施者数	実施率
970人	424人	43.7%

b 実施結果

健康	プレフレイル	フレイル
63%	24%	13%

(2) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

生活習慣病対策・フレイル対策・介護予防を一体的に実施し健康寿命の延伸を図るため、令和2年度より鳥取県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に取り組んでいる。日常生活圏域(11中学校区)に配置した地区担当保健師を中心に医療専門職や地域包括支援センターと連携して事業を実施した。

ア ポピュレーションアプローチ（各地区の通いの場等でフレイル予防啓発）

各種地域組織会、サロン、公民館講座、「出張！なんでも健康相談(令和2年9月から29公民館で月1回、半日開催)」等でフレイル予防についての普及啓発及びフレイル度チェック（基本チェックリスト）等を実施した。

実施状況

フレイル説明・体操等実施（延べ）	参加人数（延べ）
668回	5,596人

イ ハイリスクアプローチ（個別的支援）

対象者に対して地区担当保健師及び地域包括支援センター職員で訪問を実施。必要に応じて医療の受診勧奨や保健指導、栄養指導、地域包括支援センター等と連携した。

対象①：「低栄養防止」令和3年度の健診結果で、BMI20以下かつ昨年度の健診時よりも体重が2キロ以上減少した者(75歳以上85歳未満)

対象②：「重症化予防（その他生活習慣病）」令和3年度の健診結果で、要治療であったが未治療者。

対象③：「健康状態不明者対策」令和3年度に過去4年間医療機関・歯科・健診未受診だった方

対象④：「口腔機能低下予防」令和4年度に77歳になる方で、過去4年間、歯科受診・歯科健診受診のない方

対象⑤：「鳥大医療連携でのフレイル対象者」鳥取大学医学部附属病院が入院する者に実施するフレイル度チェック（基本チェックリスト）で、プレフレイル又はフレイルに該当した者

対象⑥：「グランド70購入者のフレイル対象者」交通政策課が自動車免許返納者等、高齢者を対象とするバス定期券割引サービス(グランド70)利用者に基本チェックリストを実施しており、フレイルに該当した者

対象⑦：「体調不良時にサポートがない者」令和3年度健診受診者のうち、後期高齢医者質問票において、質問項目⑮体調不良時に相談できる人がいない、かつ⑳健康状態が良くないと答えている者

実施者数（人）

対象①	対象②	対象③	対象④	対象⑤	対象⑥	対象⑦	計
59人	38人	128人	272人	26人	56人	35人	614人

(3) 介護予防・日常生活支援総合事業（一般介護予防事業）

65歳以上を対象に運動機能の向上及び地域活動支援を行った。

ア がいなみつく予防トレーニング

一人につき運動指導を3か月間、週1回実施。

利用延人数	3,255人
開催会場数	12ヶ所

イ ふらっと、運動体験！！

利用延人数	開催会場数（米子サン・アビリティーズ）
578人	1カ所

※その他、フレイル対策拠点事業においてもふらっと、運動体験！！を実施

ウ 地域リハビリテーション活動支援

リハビリテーション専門職を地域の通いの場や対象者の自宅へ派遣し、講義や実技アドバイスをを行った。

支援回数 25回

エ 介護予防地区講座

介護予防に関する知識の普及や啓発のため、医師、薬剤師、リハビリテーション専門職、健康運動指導士等により公民館にて講座を開催した。

参加延人員	開催回数
767 人	29 回

(4) フレイル対策拠点事業

市民が日常的にフレイル予防に触れる機会を創出するため、市内にフレイル対策拠点を設置し、フレイル予防実践及び情報発信を実施した。令和4年度は新たに1カ所設置し、3カ所の拠点を整備した。

ア Chukai コムコムスクエア

(ア) ふらっと、運動体験！！

参加延人員	開催回数
1,327 人	36 回

(イ) ふらっとリモート運動体験

参加延人員	開催回数
598 人	47 回

(ウ) 介入支援教室（フレッシュアップスクール）

参加延人員	開催回数
271 人	24 回

(エ) フレイル予防実践体験ツアー

参加延人員	開催回数
44 人	6 回

イ 白鳳の里（淀江ゆめ温泉）

(ア) ふらっと、運動体験！！

参加延人員	開催回数
749 人	36 回

(イ) ふらっとリモート運動体験

参加延人員	開催回数
428 人	47 回

(ウ) 介入支援教室（フレッシュアップスクール）

参加延人員	開催回数
150 人	24 回

(エ) フレイル予防実践体験ツアー

参加延人員	開催回数
24 人	3 回

ウ 米子市弓浜地域老人福祉センター

(ア) ふらっと、運動体験！！

参加延人員	開催回数
1,042 人	36 回

(イ) ふらっとリモート運動体験

参加延人員	開催回数
492 人	43 回

(㊦) 介入支援教室（フレッシュアップスクール）

参加延人員	開催回数
115 人	24 回

(㊧) フレイル予防実践体験ツアー

参加延人員	開催回数
58 人	6 回

(5) 鳥取県後期高齢者医療制度特別対策補助金

健口機能向上支援事業

後期高齢者に対し、集団での口腔歯科健診を実施するとともに、ミニ講演や予防体操などの健康教育を行った。

利用人数	45 人
開催地区数	7 地区

(6) ICTでつながるフレイル予防実践事業

生活圏域内において気軽にフレイル予防実践に取り組める環境を整備するため、市内の全公民館にリモート会議用機器を配置した。これを活用して、米子市フレイル対策拠点から中継配信されるフレイル予防のための運動教室（ふらっと運動体験）の指導内容を受信及び放映し、各公民館において教室への遠隔参加の受け入れを行った。

参加延べ人数	484 人
開催回数	55 回

(7) 元気づくり地域応援事業

65 歳以上を対象に運動機能の向上及び地域活動支援を行った。

ア ショッピングリハビリ

自力で買い物ができない方に買い物支援と併せて運動指導を行った。

利用延人数	開催会場数
1,005 人	5 カ所

イ 健康づくり・やっぴ未来や塾

地域で取り組むサロン等に運動指導者を派遣し、継続的、効果的な活動につながるよう支援した。

支援回数	開催会場数
96 回	32 カ所

ウ 健康づくり・地域サポート講座

健康づくりを地域ぐるみで取り組むための人材育成を行った。

参加延人数	開催回数
129 人	1 回

3 健康づくり事業

(1) 栄養改善

ア 生活習慣病予防

一般住民を対象に、管理栄養士が生活習慣病予防の食事指導と試食を行った。

31箇所 受講生 302人

イ 男性のための！健康づくり&クッキング教室

一般住民を対象に、男性のための！健康づくり&クッキング教室を開催した。

高齢化社会を迎え、男性も自分を含め、食事のあり方及び生活習慣病予防の食事について勉強する。

講話（バランス食、減塩食等）と調理実習を開催した。

7回実施 参加延人数 198人

(2) 保健推進員活動事業

市が行う保健事業の円滑な推進と、市民の健康づくりを積極的に取り組むため、米子市地区保健推進員会を設置し、次の事業を行った。

ア 各種健康診査、健康相談等の受診勧奨並びに介助に関すること

イ 保健衛生意識の啓発及び普及並びに各種健康教育の案内に関すること

ウ 設置状況

29地区 575人（R4.5時点）

(3) 住民組織育成事業

ア 食生活改善地区組織活動

食生活改善推進員を対象に料理講習を行い、各地区公民館において地区住民に伝達を行った。親子の食生活共同体験事業を実施した。

(ア) 食生活改善推進員伝達講習 50人（地区住民への伝達： 249人）

(イ) 親子の食生活共同体験事業 23人（地区住民への伝達： 594人（レシピ等配布のみも含む））

イ 食生活改善推進員教育

各校区1~2人ずつ米子市において、1年間（6回）教育を受け、修了後各地域でボランティア活動を行う。

(ア) 教育回数 6回（30時間）

(イ) 出席延人数 83人

(ウ) 修了者 14人

ウ 健康づくり組織合同研修会

食生活改善推進員及び地区保健推進員を対象に、研修会を実施した。（参加者数45名）

(4) 医療リテラシーの推進

医療リテラシーの考え方を広く市民へ普及させるため、健康に関する啓発動画を作成した。また、秘書広報課と連携して作成した動画を市の公式SNSや市ホームページ等で発信するなど広報活動を行った。

(5) 健康づくりに関する知識の普及

ゴミ分別収集カレンダー&健康ガイドをクリーン推進課と合同で作成し全世帯に配布した。

4 一般保健事業

(1) 献血推進事業

各事業所、団体等の協力により献血を実施した。(現在、赤十字血液センターの方針として、全血献血(400mL)を主に
行なっている。)

献血方法	全血献血(400mL)
献血者数	1,750人

(2) 救急医療対策事業

鳥取県西部医師会が行う急患診療所運営費事業に対し、補助金を交付した。

ア 名称 西部医師会急患診療所

イ 所在地 米子市久米町136 西部医師会館内

ウ 運営主体 (公社)鳥取県西部医師会

エ 診療日及び診療時間

休 日:71日

日曜日、祝日、12月30日～1月3日 午前9時～午後10時

平日夜間:294日

上記以外の日 午後7時～午後10時

オ 受診者数 延 2,446人(内 米子市 1,971人)

(3) 休日救急歯科診療等事業費補助事業

ア 障がい者(児)歯科診療事業

鳥取県西部歯科医師会が行う障がい者(児)の歯科診療事業に対し、補助金を交付した。

受診者数 延 338人(内 米子市 249人)

イ 休日救急歯科診療事業

休日救急歯科診療業務を鳥取県西部歯科医師会に、委託実施した。

受診者数 延 648人(内 米子市 427人)

(4) 公衆浴場助成事業

公衆浴場の存続を図り地域住民の保健衛生の向上のため、公衆浴場確保対策として3事業者に補助金を助成した。また、
原油価格高騰対策で湯の加温にかかる燃料費として3事業者に補助金を助成した。

(5) 自死対策事業

普及啓発活動に取り組み、自死予防の意識の向上を図るため各種事業を実施した。

ア 健康講話による啓発

市民を対象に保健師による講話(5回)延べ35人

イ 動画作成による啓発

平日の日中にゲートキーパー研修に参加できない世代にも啓発できるようにこころの健康、相談を受けた時の対応に
ついての動画を作成し市ホームページ等に掲載。

ウ 市職員への周知・啓発

市役所職員はゲートキーパーとなり得る立場にあるため、9月と3月に職員用掲示板を利用して自死の現状や話の聞
き方等の情報提供と啓発を実施。

エ 自殺予防週間に啓発用Tシャツを職員着用、各種事業でポケットティッシュ配布

オ 広報よなごに掲載(年1回)、ごみ分別収集カレンダーと米子市ホームページに掲載(9月、3月)

カ パンフレットラック設置(保健センター、イオン米子駅前店、米子市立図書館)

キ 二十歳を祝う会配布物へ自死対策普及啓発チラシ・ティッシュの同封 (1,200人)

ク 自死遺族の集い (主催：精神保健福祉センター)

ふれあいの里にて2か月に1回 (奇数月) 開催

5 感染症予防対策事業

(1) 予防接種

ア こどもの予防接種

予防接種委託医療機関で実施した。

種 別		対象者数	接種者数	種 別	対象者数	接種者数				
ロタウイルス ワクチン	1 価	1回目	1,135人	水痘	1回目	1,129人				
		2回目	1,135人		2回目	1,129人				
	5 価	1回目	1,135人	日本脳炎	1期	1回目	1,245人			
		2回目	1,135人			2回目	1,245人			
		3回目	1,135人			追加	1,291人			
ヒブワクチン	1回目		1,135人	2期		1,284人				
	2回目		1,135人	1期		1,129人				
	3回目		1,135人	2期		1,334人				
	4回目		1,112人	1期		1,129人				
小児用肺炎球菌 ワクチン	1回目		1,135人	2期		1,334人				
	2回目		1,135人	1期		1,129人				
	3回目		1,135人	2期		1,334人				
	4回目		1,112人	BCG		1,135人				
百日せきジフテ リア破傷風混合 不活化ポリオワ クチン	1 期	1回目	1,135人	B型肝炎	1回目		1,135人			
		2回目	1,135人		2回目		1,135人			
		3回目	1,135人		3回目		1,135人			
		追加	1,112人	1,053人		定期	1回目	610人		
ジフテリア 破傷風混合 ワクチン	2期		1,365人		804人		子宮頸がん 予防ワクチン	2回目	610人	
								3回目	610人	
								追加	610人	
						キャッチ アップ	1回目	541人		
							2回目	436人		
							3回目	289人		

※「対象者数」は、各定期接種における標準接種年齢の人数（子宮頸がん予防ワクチンのキャッチアップ接種は標準接種年齢がないため未記入）

イ 高齢者のインフルエンザ予防接種

予防接種委託医療機関（米子市、境港市、西伯郡、日野郡）で実施した。

対象者数	43,085人
接種者数	27,737人

ウ 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種

予防接種委託医療機関（米子市、境港市、西伯郡、日野郡）で実施した。

対象者数	6,120人
接種者数	1,249人

エ おとなの風しんワクチン接種

妊娠を希望する女性と妊婦の同居者が風しんワクチン（麻しん風しん混合ワクチンを含む。）を接種した場合、接種費用の全部又は一部を助成した。

件数	146件
助成金額	1,068,967円

オ 風しん追加的対策

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性を対象に、無料で風しんの抗体検査・予防接種を実施した。

対象者（昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性で過去に風しんの抗体検査や予防接種をしていない方）には、勧奨ハガキを発送し、市報などで検査・接種勧奨を行い、無料接種クーポン券を再送付した。

対象者	抗体検査	予防接種
12,233人	299人	99人

(2) 結核健康診断

集団検診として、市内2会場で13日間にわたり実施し、受診者数は610人であった。(65歳以上を計上)うち、精密検査対象者は21人で、肺結核者は0人であった。また、医療機関での胸部撮影者は8,589人であった。

6 新型コロナウイルス感染症関係

(1) 新型コロナウイルス感染症対応

県と合同で新型コロナウイルス感染症対策本部会議を計21回開催し、全国的な感染状況及び本市における感染状況の共有と対応策を協議した。また、市のホームページなどで感染予防の啓発活動を行った。

(2) 新型コロナウイルスワクチン接種

ア 接種体制

12歳以上の者を対象に初回接種、追加接種及び令和4年秋開始接種を実施し、個別接種、集団接種及び巡回接種の3つの体制の最適化を図りながら、接種対象者、使用するワクチン(従来型ワクチン、オミクロン株対応2価ワクチン)の特性を踏まえ体制を構築し接種を実施した。

接種回数	ワクチンの種類	個別接種 (回数)	集団接種 (回数)
1回目接種	ファイザー(従来型)	294回	346回
	モデルナ(従来型)	112回	0回
	ノババックス	15回	50回
2回目接種	ファイザー(従来型)	373回	401回
	モデルナ(従来型)	114回	0回
	ノババックス	7回	52回
3回目接種	ファイザー(従来型)	12,019回	8,778回
	モデルナ(従来型)	3,226回	4,297回
	ノババックス	0回	3回
	ファイザー(オミクロン株対応)	1,272回	1,185回
	モデルナ(オミクロン株対応)	81回	221回
4回目接種	ファイザー(従来型)	25,203回	4,945回
	モデルナ(従来型)	5,738回	4,498回
	ノババックス	2回	0回
	ファイザー(オミクロン株対応)	10,694回	8,650回
	モデルナ(オミクロン株対応)	392回	1,369回
5回目接種	ノババックス	0回	0回
	ファイザー(オミクロン株対応)	24,565回	7,418回
	モデルナ(オミクロン株対応)	151回	1,315回

※住民登録地が市外の方、市外接種の方を除く。

イ 個別接種

市内 128 医療機関の協力のもと接種を行った。

ウ 集団接種

木曜日、土曜日及び日曜日を中心に最大 3 会場を開設した。各会場の開設期間は次のとおり。

会場	開設期間
福祉保健総合センター（ふれあいの里 1 階）	令和 4 年 4 月 2 日から令和 5 年 3 月 25 日
福祉保健総合センター（ふれあいの里 4 階）	令和 4 年 6 月 5 日から令和 5 年 3 月 11 日
米子市役所淀江支所	令和 4 年 4 月 2 日から 5 月 28 日 令和 4 年 7 月 2 日から 9 月 11 日 令和 4 年 10 月 15 日から 12 月 25 日

エ 小児接種

5 歳から 11 歳の小児を対象に、初回接種、追加接種及び令和 4 年秋開始接種を実施し、市内 18 医療機関の協力のもと接種を行った。また、鳥取県西部圏域住民の利便性を図るため、1 市 6 町 1 村（米子市、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町及び日吉津村）による広域化を実施し、各市町村の住民が圏域内の希望する医療機関等で接種できる体制を構築した。

接種回数	ワクチンの種類	個別接種 (回数)
1 回目接種	ファイザー（5 から 11 歳用）	1,518 回
2 回目接種	ファイザー（5 から 11 歳用）	1,678 回
3 回目接種	ファイザー（5 から 11 歳用）	453 回
	ファイザー （5 から 11 歳用、オミクロン株対応）	6 回
4 回目接種	ファイザー （5 から 11 歳用、オミクロン株対応）	27 回

※住民登録地が市外の方、市外接種の方を除く。

オ 乳幼児接種

令和 4 年 11 月 16 日から乳幼児接種を開始し、生後 6 か月から 4 歳の乳幼児を対象に初回接種（1～3 回目）を実施し、市内 7 医療機関の協力のもと接種を行った。また、鳥取県西部圏域住民の利便性を図るため、1 市 6 町 1 村（米子市、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町及び日吉津村）による広域化を実施し、各市町村の住民が圏域内の希望する医療機関等で接種できる体制を構築した。

接種回数	ワクチンの種類	個別接種 (回数)
1 回目接種	ファイザー（6 か月から 4 歳用）	129 回
2 回目接種	ファイザー（6 か月から 4 歳用）	120 回
3 回目接種	ファイザー（6 か月から 4 歳用）	95 回

※住民登録地が市外の方、市外接種の方を除く。

カ 接種証明書（ワクチンパスポート）発行

接種を証明するものとして、郵送及び窓口において次のとおり発行した。

日本国内用	22 件
海外用及び日本国内用	593 件

※新型コロナワクチン接種証明アプリ（デジタル庁提供）での発行を除く。

キ 住所地外接種届

住民登録地が市外の方が、本市で個別接種又は集団接種等を受けるための届出を次のとおり受け付けた。

1・2回目接種	12件
3回目接種	216件
4回目接種	198件
5回目接種	56件

ク キャンセル待ち申請

接種日当日に、体調不良等のやむを得ない事情により急遽キャンセルが発生した場合に、ワクチンを廃棄せず有効活用する観点から、キャンセル待ち制度を設け、次のとおり受け付けた。

12歳以上	524件
5歳から11歳	64件

7 不妊治療費等助成関係

(1) 不妊治療費助成事業

不妊治療に要した経費の一部を助成することによりその経済的負担の軽減を図り、妊娠及び出産を望む夫婦が安心して子どもを産み育てることができる環境を整備するため、費用助成を実施した。

区分	件数	助成金額
特定不妊治療	88件	2,891,465円
人工授精	46件	260,166円

(2) 不育治療費等助成事業

不育症検査及び治療に要した費用の一部を助成することによりその経済的負担の軽減を図り、妊娠及び出産を望む夫婦が安心して子どもを産み育てることができる環境を整備するため、費用助成を実施した。

件数	1件
助成金額	7,895円

8 地域保健活動関係

市内11中学校区に1名ずつ地区担当保健師を配置し、公民館や地域の活動の場で健康相談を行うなど赤ちゃんから高齢者まですべての年代の地域の市民を対象に健康づくりを支援した。また、医療専門職や地域包括支援センターと連携し、フレイル予防啓発活動や生活習慣病重症化予防対象者へ個別訪問を行った。